

例会 NO 1 2 1

No 3- 35 1993. 4. 7 発行



1992~1993RIテーマ
まことの幸福は
人助けから
RI会長 クリジ・ダクターマン

Tokyo
Tama
Green
Rotary Club

Weekly Report

国際ロータリー第2750地区 東京多摩グリーンロータリークラブ

1992~1993年度クラブ目標 “地域を見つめよう……地域にロータリーの輪を……”

第121回例会報告(3/31)

【お花見例会】

於：東京国際カントリー倶楽部

司会 SAA 足立潤三郎

☆点 鐘 会長 赤尾 恭雄

☆ロータリーソング 「奉仕の理想」

リガリガ SAA 吉沢 洋景

☆お客様紹介 会長 赤尾 恭雄

由井 重光・照子様（特別代表・

東京多摩RC）

葉坂 仁司・和子様（東京多摩RC会長夫妻）

古屋 誠児様（東京多摩RC幹事）

中村 洋一様（東京多摩RC・地区副幹事）

石坂 文夫様（東京多摩RC・地区米山奨

学推進委員）

福井 孝様（東京多摩RC）

五十嵐耕司様（東京稲城RC会長）

竹村 寛様（東京稲城RC幹事）

馬場 輝彦様（東京稲城RC）

野沢麻衣子・久子様（国際青少年交換学生、母）

ガンホヤック様（モンゴル国大使館商務官）

平野 行広様（新会員候補者）

☆会務報告 会長 赤尾 恭雄

3/24（水）開催の第14回定例理事会において
審議決定したことを報告致します。

* 会員候補者の入会推薦については幹事より報告致します。



【お花見例会風景】

* 市内福祉団体への寄付については寄付引当金として留保中のクリスマスパーティー・チャリティオークション売上金を身障者施設「いこいの家」の器具類調達資金として寄付する。

* 花見例会実施計画については杉田親睦委員長の説明通り。

* 理事の欠員補填については吉田理事の退会に伴い、クラブ細則第1条第3節に基づいて、小島副幹事を理事（副幹事兼務）に選任した。

* その他について

・会員増強対策の必要性を再確認。

・第5回クラブ協議会の4月開催を確認。

・吉田理事へ理事会として記念品贈呈。

* 3月12・13日に行われた地区大会で、ガバナール賞を受賞したことを披露申し上げます。

☆幹事報告 幹事 遠藤 二郎

* 先程会長より報告ありました新入会員候補者の入会推薦について、3/24の理事会で承認されました。

- ・関岡 俊二氏 学校法人高西寺学園理事長
(職業分類) 幼稚園
(推薦者) 遠藤 二郎
- ・節原 由廣氏 (有)節原塗装店代表取締役
(職業分類) 塗装業
(推薦者) 佐伯 和廣

異議のある方は本日より10日間の内に文書を以って申し出て下さい。

☆委員会報告

★出席委員会 出席委員 海野 栄一

	総数	出席	MU	欠席	出席率
本 日	4 6	4 2	2	2	95.65%
前 回	4 6	3 5	5	6	86.96%

〔先週のメイクアップ〕

- 中山 恒武 (3/23日本橋RC)
- 伊神 稔 (3/29日本橋東RC)
- 中山順一郎 (3/30多摩RC)
- 横倉 恒雄 (3/30多摩RC)
- 高村 弘 (3/30多摩RC)

〔今週のメイクアップ〕

- 今井 正司 (3/30八王子東RC)
- 村上 久 (3/30多摩RC)

〔欠席届出者〕

- 内藤 實、横倉 恒雄

★親睦委員会 親睦委員 宮本 誠

ニコニコBOX

古屋 誠児様(多摩RC) 楽しくゴルフをさせて頂きました。

西尾 正誼様(多摩RC) 本日は楽しいゴルフにおさそい下さいまして有難うございました。

馬場 輝彦様(稲城RC) 楽しいお花見コンペに参加できてまして。

赤尾 恭雄 大勢のお客様をお迎えして、盛大に花見例会を開催でき、誠に感謝にたえません。有難うございます。

遠藤 二郎 お客様ようこそ。今夜は楽しく

お過ごし下さい。

杉田 誠 皆様ようこそ。今夜は心おきなくお楽しみ下さい。

新海源四郎 バンティーン・ガンホヤックモンゴル商務官をお迎えして。

北村 幸彦 皆さんようこそ。会場その他行き届きませず申し訳ありません。

海野 栄一 花見例会に大勢のお客様をお迎えして。

森田 舞子 本日は大勢のお客様をお迎えして。

伊神 稔 お客様ようこそ。

宮本 誠 大勢のお客様、ようこそおいで下さいました。花も間に合っとうれしいですね。

大熊 将夫 雨の花見会 風流でいいですね。

中山順一郎 雨の桜もいいものです。

吉沢 洋景 桜が丁度見頃になりましたね。

今夜はおおいに楽しみましょう。

佐伯 和廣 雨ですね。桜きれいに咲いています。

隅 耕造 花見例会を祝して。

小城 章員 雨の桜の花見会。

松原 健 気持ちが良いから。

猪股 末男 今日は同伴で出席出来た事で。

吉尾警太郎 初めての30台、松原さんと同ネットの準優勝出来。海野さんにグロスで勝ちました。

橋口 洋三 本日の花見ゴルフで、久しぶりにグロス77で3位に入賞させて頂いたので。

萩生田茂夫 今日は大変楽しいゴルフが出来ました。

藤本 吉文 花見ゴルフコンペでドラコン、セカンドニアピンが取れたので。

風間 茂穂 野沢さんの帰国を祝い、かつ私の誕生祝、結婚祝を頂けるそうで。

城倉 正博 今日は3月31日、かみさんの誕生日又ゴルフは31位でついています。

須藤 起雄 結婚祝、有難うございます。今年3月で25年になります。

高村 宏 3月は2人共誕生日で、29日に36回目の結婚記念日を迎えました。

足立潤三郎 大勢のお客様をお迎えして。

吉田 文夫 色々楽しい思い出ばかりですが、

お花見例会で皆さんとお別れです。3年間本当に有難うございました。

以上合計 75,000円



〔吉田さんに花束贈呈〕

==== 【卓話】 (3/24講演) =====

「言葉を自分の一生の仕事に」

TBSテレビ専属ナレーター

小島 光代様

つい先日シンガポールから帰国致しました。今回の滞在は少し長くて、2ヶ月半程でした。ご存知の様にシンガポールは日本の物は何でもあり、食事も、日用品も全然日本の物を恋しく思うことはありませんでした。しいて言えば、美しい日本語と、日本の男性方が恋しく、早く素敵な紳士の方々に会いたいなと思って帰ってきたら、いきなり今日、紳士の中の紳士の方ばかりがお集まりのロータリークラブの会合にお招き頂き、私って本当に幸運なんだなと喜んでおります。



男の方って羨ましいなとつくづく思いますのは、幾つになられてもその年齢に応じた魅力というものをちゃんと持って大人になっていられる方が凄く多いと言う事は本当に羨ましいなと思います。これは私達女性には仲々難しい事です。その辺の事が私が言葉というものを自分のライフワークと決め放送界に入った一つの理由でもあるので、今日はその辺の事をお話してその後朗読を一つ聞いて頂こうと考えています。男の方は20代、30代よりかえて40代、50代、60代、70代になると若いときよりもっともっと別の魅力が出ると言

う方がたくさんいらっしゃいますが、女性の場合は滅多にそういうことはなく、例えば20代、30代でなんでもない様な人が40代、50代になったら道を歩いていたら皆が振り返りたくなるようないい女になったという様な話は、無いわけではありませんが、凄く稀です。どうしてそんな差が出てしまったのかと考えた訳です。色々な理由があると思いますが、その一つに人は皆等しく年をとっていく訳です。それと同時に若さを失って行くわけです。その失った所に大きな穴がポッカーと開きます。ここまでは男性も女性も同じです。違うのは、ここから先で、男の方はその後年齢と共に、豊かになって行くような、例えば、経済力、社会的立場とか、色々な経験を通して得た自信とか、そういった素敵な物でアッと言う間にその大きな穴を埋めていられる。埋めるだけでなく、溢れる程にしてドンドン魅力をまして輝いていられる方もあるわけです。でも女性の場合は、その穴を埋めるものが凄く少ないんです。例えば、今私が申し上げました様な社会的立場とか、経済力などは全く女性を美しく見せる時に役にたってはくれません。まして経験だ、自信だというような事はかえて羞恥心を失いがちですから、むしろみにくく見せるかもしれないと言う事で、本当に女性は年齢と共にドンドン良くなつていくというものが凄く少ないと言うハンディを持っている事をご理解頂いて、これからは50代、60代の女性に、もっと愛情をもって暖かく、優しく接して頂けたらいいのになと思います。女性にだって何かその穴を埋めるものがあるんじゃないかと色々捜して気が付いたのが言葉の世界でした。言葉というものは余り無造作に喋っているのは効果がありませんけれど、ちょっと気をつけて意識して上手に喋っていけば、使えば使うほど確実に磨かれていくものだと思います。その事に気がついたものだから、私はこの言葉を自分の一生の仕事にしてやっていこうと、それでもしかしたらしょんぼりしないで、ニコニコしながら年をとっていきけるかもしれないと思ったのが放送界に入るきっかけで、今思うとあの時の選択は私にとって良かったと思っています。

人の第一印象について何かのアンケートで、人が第一印象を決める時大きく働く要素として、一つに見た感じ、即ち容姿、もう一つはその人の声と喋り方で大体印象を決めているとの答えが出ているそうです。この二つを変えれば印象も変わっていくわけです。ですが、一番目の姿、顔、形は簡単に変えることが出来ません。二番目の声、話し方というのはかなり自分でコントロールして変えることが可能なものです。例えば、今私がお話しているこの調子は、普段こういう様な所で話している同じ調子ですから、これは私の地です。この印象を少し変えたいと思ってもっともっとバリバリと仕事ができるキャリアウーマンに見て頂きたいと思ったり、逆に仕事なんか全然興味が無く、男性だけを頼りに生きている様な女らしいタイプに見て頂きたいと思うならこの喋り方、声の調子を変えたり、話し方のスピード、語尾の処理の仕方、どういう言葉を選んで使うかというものによって随分変わっていくものだろうと思います。言葉と言われます様に、言葉には本当に不思議で神秘的な力があり、例えばいつも暗くて、マイナス・イメージの言葉ばかり発していると本当にそういう事になるし、逆に明るいプラス思考のことを喋っているとドンドン物事の状態が良くなっていくと言う事は色々な所で言われており、信じている方も多いようです。特に私の様に言葉を仕事にしている者にとりその影響力がすごく大きいと言う事を色々な所で感じております。

昨年の後半にテレビの仕事とは別に二つばかり大きな舞台をいたしまして、舞台の上で古典の物語を語るお仕事ですが、出し物が一つは道成寺物語の中の安珍・清姫、もう一つは源氏物語の中の六条の御安所を語りました。この二人の女性は二人とも恋人に捨てられるか、捨てられそうになって、その恨む思いがつのって道成寺では蛇に身を変えて相手を焼

き殺してしまう、で源氏物語の方は生霊になりまして源氏の君の北の方である葵の方を呪い殺してしまうというどちらも凄まじい女性の性を描く作品を手掛けました。台本を最初見ました時、とってもこんな女性の怨念みたいなものが理解出来ないと思い困った事になったなと思っていました。毎日毎日練習して自分の声で言葉にし、それが耳に入ってくる、そういう事を半年位していましたら、スッカリ自分も本当にそういう考えが不自然でもなく、女として当然だという風に考えが変わって来ました。だから今だれか好きな人に捨てられるような事があれば、私も凄く酷いことをするのではないかと思って今は時期では無いと待っておりました。そうしたら今年になりまして、今度はシンガポール講演ですが、出し物が平家物語に決まりました。その中の祇王という女性を語るのですが祇王も平の清盛に酷い形で捨てられていくわけですが、清盛を恨んで何かしようというのは無く、悲しくて泣いて泣いて最後は尼になって嵯峨野の山奥に庵をかまえて一生をおくるという女性で、その稽古がこの間始まりました。毎日毎日自分の声で言って耳で聴いているうちに段々私の恐ろしい気持ちも丁度旨く調和されて、今は強すぎも弱すぎもしない凄くバランスの良い状態だと自分で思っていました、もし恋をしたり捨てられたりするなら今がチャンスだと思って春とともに期待しているのですけれども、本当はこの三つの話の中から聴いて頂きたいのですが、どれも1時間位かかる大作ですので今日は時間が足りませんので短いものを用意して参りました。今昔物語でございます。

本当は古文でザッと最後まで読ませて頂くと一番良いのですが、今日は古典をもとに杉本苑子さんが現代文に創作されたものを読ませて頂きます。これは今昔物語の26巻の一番初めに出て来ます。(今昔物語朗読：以下省略)



東京多摩グリーンロータリークラブ

会長：赤尾恭雄 副委員長：津守弘範・委員：北村幸彦
幹事：遠藤二郎 杉田 誠・佐伯和廣・隅 耕造
会報委員長：奥田文夫 小島周二郎

事務局：東京都多摩市落合547
多摩センタービル7F
TEL 0423(72)6463/FAX 0423(72)6491

*例会場 多摩そごうデパート7F サファイヤバンケットルーム

*例会日 毎週水曜日12:30 月の最終例会18:30